

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	民家小委員会	主 査 名：三浦 要一 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：西澤 泰彦
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・民家研究の継承と発展 ・日本全国にわたる研究成果の総合的収集とその整理 ・研究成果の公表（民家・集落の現場と研究者の連携等 初年度：民家・集落の保存・活用 兵庫県養父市大屋地区で重伝建の見学会 2 年度：民家・集落の保存・活用 横浜市に所在する移築民家の見学会 3 年度：民家・集落の保存・活用 弘前市仲町伝建地区の状況調査と意見交換 4 年度：民家・集落の保存・活用 徳島県祖谷山の民家と集落の見学会	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：三浦要一 幹事：大場修，溝口正人 委員：平山育男，土本俊和，大野敏，中村琢巳，長田城治，安高尚毅，渡邊美樹，御船達雄，山田由香里，西山和宏，黒坂貴裕	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2019 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	今年度は、集落・町並みの本質的な魅力把握とその発信，維持継承に向けてどのような手法が可能かについて，民家小委員会委員の経験をもとに地域との交流をふまえて考える機会をもった。重伝建地区に選定後に 40 年を経た弘前市仲町地区は，世代交代や所有移転に伴う地区特性の認識周知の必要性があり，新たな価値観の提案や維持継承に対する周辺からの協力が必要とされた。
委員会活動の問題点 ・課題	委員が全国に所在し，旅費に制限があることもあり，年に 1～2 回程度しか委員会を開催することができないこと。